

パナマにおける新型コロナウイルスワクチンを巡る現状

令和3年4月6日
在パナマ大使館

1 パナマにおけるワクチン接種の現状

(1) ワクチン投与の対象

12歳以上のパナマ国民及び同国に在住する外国人(外交官も含む)。なお、ワクチン接種について、保健省はウェブサイト到手引きを掲載している。

(http://www.minsa.gob.pa/sites/default/files/general/conociendo_la_vacuna.pdf)。

(2) ワクチン接種の登録方法

ウェブサイト(<https://vacunas.panamasolidario.gob.pa>)にアクセスし、所要事項を入力して登録。

(3) ワクチン接種に係る所要経費

無償

(4) ワクチン接種目標人数

人口の86%にあたる3,625,000人への接種を目指している。

(5) ワクチン投与数

4月1日までに373,491ドースのワクチンを投与(いずれもファイザー・ビオンテック社のもの)。

(6) ワクチン投与に係るタイムテーブル

以下のカテゴリーに類別し、段階的にワクチンを投与することとしている(1月12日発表)。

フェーズ	対象	備考
1A	ア 公立及び民間の医療体制において新型コロナウイルス対応の第一線にいる保健職員及び補助員 イ 福祉施設ないし自宅の病床についている60歳以上の者	・1月20日より、ワクチン接種を開始。
1B	ア 段階1Aにおいて優先されていない公立及び民間の医療体制における保健職員 イ 治安当局、国家防災庁(SINAPROC)、赤十字等の第一線で活動している者 ウ 16歳以上の身体障がい者 エ 清掃当局関係者	
2A	ア 60歳以上の者 イ 慢性疾患を有する16歳から59歳の者	・3月4日より、ワクチン接種を開始。
2B	ア 公立及び私立の大学及び教育機関における教員及び事務職員 イ 育児施設の職員	

3A	先住民及びアクセスの悪い地域の住民	
3B	ア 空港、税関、移民当局などの感染リスクに曝されている職につく者 イ 交通・輸送機関の運転手 ウ 囚人	
4	16歳から59歳までの慢性疾患を有さない者 一般の者	・2月28日、パナマ政府は、ファイザー・ビオンテック社製ワクチンの追加調達に関し、同社の臨床試験を踏まえ、12歳～16歳の者にもワクチンを割り当てられるよう追加調達することにした旨発表。

2 パナマにおけるワクチン調達の現状(4月5日現在)

(単位:ドース)

製造元	調達予定数数	到着数	備考
ファイザー(米)ー・ビオンテック社(独)	4,999,530	534,550	・2月14日、我が国厚労省が特例承認
アストラゼネカ社(英) (※直接契約ないし COVAX ファシリティ)	1,092,000	0	・2月15日、WHO が緊急使用許可を発出。 ・COVAX ファシリティの枠組では、パナマに対し5月までに184,000ドースが配付されるとの報道あり。
ジョンソン&ジョンソン社(米)	300,000	0	・2月27日、米国が緊急使用承認
ガマレヤ国立疫学・微生物学研究センター (露)(スプートニクV)	3,000,000 (交渉中)	0	・3月4日、パナマ政府はロシア側に対してワクチンの調達を依頼。
合計	6,391,530	350,860	